



JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

決算説明会

— 2017年3月期第2四半期 —

株式会社JSP

目次

1. 2017年3月期第2四半期決算概要
(以下、2016年度上期)
2. 2017年3月期決算見通し
(以下、2016年度見通し)
3. 2017年3月期第2四半期決算補足
(以下、2016年度上期補足)
4. 需要拡大・用途拡大・新工場等の紹介

決算概況

2016年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	15年上期 実績	16年上期 公表	16年上期 実績	前年 同期比	公表比
売上高	57,221	56,000	54,587	△4.6%	△2.5%
営業利益	4,120	4,300	5,000	+21.4%	+16.3%
経常利益	4,107	4,350	5,031	+22.5%	+15.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,879	3,200	3,820	+32.7%	+19.4%

●国内外の経済状況

国内は低調/欧米は堅調/ブラジルは景気悪化/中国は成長鈍化/東南アジア・インドは景気回復

●国内発泡プラスチック業界

原料価格安定・住宅着工件数回復/熊本地震や個人消費回復の遅れで需要は低調

●当社グループの業績

売上高：販売数量は増加したが製品価格改定と円高の影響で減収

営業利益：円高の影響はあるも原料価格安定と高付加価値品販売が好調で大幅に増益

押出事業

2016年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2015年度上期 実績	2016年度上期 実績	前年 同期比
売上高	18,509	18,792	+1.5%
営業利益	1,186	1,515	+27.8%

販売数量増加で増収、高付加価値品の販売が好調で増益

●産業用包装材・ディスプレイ材

「ミラマット」 高付加価値製品の販売が好調で売上増加

「キャプロン」 売上は前年同期並み

●食品包材・容器

「スチレンペーパー」即席麺容器・コンビニ向けを中心に販売数量は増加したが、製品価格低下により売上減少

●住宅用断熱材・土木資材

「ミラフォーム」建築分野は、割付断裁品・高断熱製品の販売を中心に堅調、土木分野は、東北復興需要物件の受注もあり売上増加

(単位：百万円)

項目	2015年度上期 実績	2016年度上期 実績	前年 同期比
売上高	35,862	33,011	△8.0%
営業利益	3,394	3,892	+14.7%

数量増だが円高で減収、円高で利益減少・数量増と原料価格安定で増益

- 自動車衝撃緩衝材、家電製品緩衝材用途の「ピーブロック」(英名 ARPRO)
 日本：自動車向け新規部品や住宅設備向け部材の販売増により売上増加
 北米：自動車部品・新規分野の需要増、円高の影響で売上減少
 南米：ブラジル経済低迷で自動車販売台数減、リアル安の影響もあり売上減少
 欧州：自動車部品需要は大幅増、製品価格低下や円高の影響もあり前年同期並
 アジア：自動車分野の販売は好調、緩衝材・包材分野は需要減、全体として売上減少
 (為替 120.5→111.8円/\$ 133.8→124.4円/€)
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロディア」
 家電、建材・土木分野は復調、天候不順により水産・農業分野で需要減、
 製品価格低下により売上減少

その他

2016年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2015年度上期 実績	2016年度上期 実績	前年 同期比
売上高	2,848	2,784	△2.3%
営業利益	△18	68	—

国内の梱包材需要減少と円高で減収、コスト低減と原料価格安定で増益

- 国内一般包材
熊本地震の影響による自動車・光学製品向け梱包材需要減で減収
- 中国一般包材
新規製品の拡販により現地通貨では増収であったが円高の影響で減収

目次

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

1. 2017年3月期第2四半期決算概要
(以下、2016年度上期)
2. 2017年3月期決算見通し
(以下、2016年度見通し)
3. 2017年3月期第2四半期決算補足
(以下、2016年度上期補足)
4. 需要拡大・用途拡大・新工場等の紹介

決算概要

2016年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	16/上 実績	16/下 予想	16年度 見通し	16年7月 公表	前年比	公表比
売上高	54,587	53,413	108,000	113,000	△6.0%	△4.4%
営業利益	5,000	4,000	9,000	9,000	△3.0%	0.0%
経常利益	5,032	4,068	9,100	9,100	△0.0%	0.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,820	2,380	6,200	6,200	+4.8%	0.0%

下期予想：国内：全体的として堅調に推移、海外：円高・販売数量減の影響で減益

- 為替レート ¥107.6/\$ (上期 ¥111.8 下期 ¥103.5)
 ¥119.6/€ (上期 ¥124.4 下期 ¥114.8)
- ドバイ原油価格 \$46/bbl. (上期 \$43 下期 \$49)
- 1株当たり配当金 中間配当金 20円
 期末配当金 20円 (予想) } 年間配当額 40円 (予想)

通期見通しの変更

2016年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	2016年度見通し		主な変更理由	
	前回公表	今回公表		
売上高	113,000	108,000	△5,000	
為替	\$	¥110.0	¥107.6	円高による外貨建売上高の円換算額減少 為替差異△2,100
	€	¥125.0	¥119.6	
ドバイ原油		\$40/bbl.	\$46/bbl.	
販売単価				単価差異+2,200
販売数量 (前年比)	国内	+2.8%	△0.4%	高付加価製品の販売は堅調だが期初計画に未達 欧米は堅調、中国・韓国・台湾は期初計画に未達 ※中国は緩衝材・包材分野は低調、自動車は堅調
	海外	+12.3%	+5.3%	
営業利益	9,000	9,000		変更なし(上期5,000 下期4,000)
為替	円高による外貨建営業利益の円換算額減少			為替差異△270
国内	原料価格安定・高付加価製品販売堅調で増益			利益差異+270
海外	欧米は好調、中国・韓国・台湾は計画に未達			

※為替要因による差異は、前回公表の為替レートを今期公表の見通しに適用した場合の影響額

前期実績と通期見通し

2016年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	2015年度 実績		2016年度 見通し	主な差異理由
売上高	114,904		108,000	△6,904
為替	\$	¥121.0	¥107.6	円高による外貨建売上高の円換算額減少 為替差異△5,900
	€	¥133.7	¥119.6	
ドバイ原油	\$45.7/bbl.		\$46.0/bbl.	
販売単価				単価差異△2,700
販売数量 (前年比)	国内	△1.0%	△0.4%	数量差異+1,696
	海外	+2.5%	+5.3%	
営業利益	9,278		9,000	△278
為替	円高による外貨建営業利益の円換算額減少			為替差異 △800
国内	原料価格安定・高付加価製品販売堅調で増益			利益差異 +522
海外	中国・南米以外は現地通貨で増益			

※為替要因による差異は、前期の為替レートを今期見通しに適用した場合の影響額

押出事業

2016年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	16/上 実績	16/下 予想	16年度 見通し	16年4月 公表	前年比	公表比
売上高	18,792	18,857	37,649	37,904	△1.7%	△0.7%
営業利益	1,515	1,404	2,919	2,514	+6.0%	+16.1%

下期重点施策：高付加価値品の販売に注力 & 適正スプレッド維持



食品包材・容器
「スチレン
ペーパー」



産業用包装材
「ミラマット」
「キャプロン」
「Pボード」
「ミラボード」



住宅用断熱材
土木資材
「ミラフォーム」

- 新規グレードの拡販
コアライト（中発泡品）
PSP木目

- スマホ・タブレット市場開拓
- 新用途開拓による増販

- 高断熱性能ミラフォームへ拡販
- ウォールブロック拡販
- 土木分野への販売に注力

ビーズ事業

2016年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

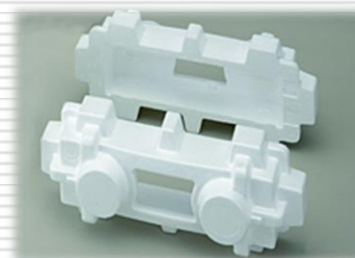
項目	16/上 実績	16/下 予想	16年度 見通し	16年4月 公表	前年比	公表比
売上高	33,011	31,526	64,537	69,016	△8.9%	△6.5%
営業利益	3,892	3,036	6,928	7,391	△6.8%	△6.3%

下期重点施策：EPP車新規部品採用拡大・新用途開拓 EPS 機能性グレードの拡販



- 自動車衝撃緩衝材
- 家電製品緩衝材
- グラウンド基礎緩衝材
「ピーブロック」
(英名ARPRO)

- グローバル展開を加速 (武漢・長春・タイ)
- 自動車部品の採用拡大 (リアシートコア材)
- グラウンド基礎緩衝材等の用途拡大



機能性グレード

- 消失模型鋳造
「クリアポール」
- 耐熱性・耐油性
「ヒートポール」
- 魚箱、家電、住宅土木資材
「スチロダイア」

- 機能性グレード拡販
- 住宅用断熱材及び土木分野の拡販

目次

1. 2017年3月期第2四半期決算概要
(以下、2016年度上期)
2. 2017年3月期決算見通し
(以下、2016年度見通し)
3. 2017年3月期第2四半期決算補足
(以下、2016年度上期補足)
4. 需要拡大・用途拡大・新工場等の紹介

経営成績

2016年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

単位は百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
2016年度上期	54,587 (△4.6%)	5,000 (21.4%)	5,032 (22.3%)	3,820 (32.7%)
2015年度上期	57,221 (△1.8%)	4,120 (54.1%)	4,107 (39.9%)	2,879 (33.5%)

包括利益 : 2016年度上期 △1,772百万円(---%) 2015年度上期 2,511百万円(81.2%)

	1株当たり 四半期純利益	売上高 営業利益率
2016年度上期	128円16銭	9.2%
2015年度上期	96円60銭	7.2%

営業利益の増減要因

2016年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

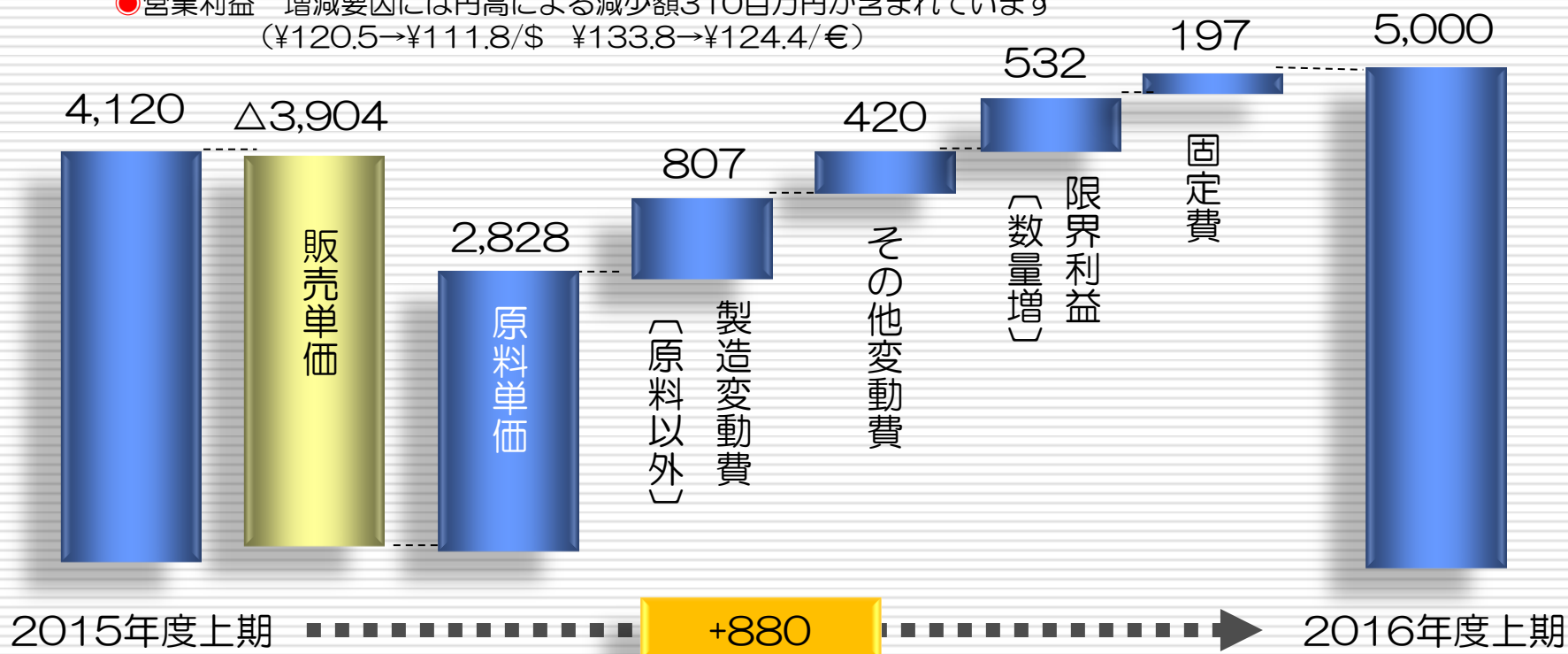
為替と製品価格改定の影響額

(単位：百万円)

●売上高 円高による減少額2,300百万円、製品価格改定による減少額1,800百万円

●営業利益 増減要因には円高による減少額310百万円が含まれています

(¥120.5→¥111.8/\$ ¥133.8→¥124.4/€)



営業外損益・特別損益

2016年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

営業外損益

(単位：百万円)

科 目	15/上	16/上
受取利息	129	86
持分法による投資利益	6	3
その他	165	171
営業外収益合計	301	261
支払利息	79	60
為替差損	185	74
その他	49	96
営業外費用合計	313	230

特別損益

(単位：百万円)

科 目	15/上	16/上
固定資産売却益	4	18
補助金収入	301	—
特別利益合計	305	18
固定資産除却損	12	27
固定資産売却損	4	—
事業構造改善費用	388	—
特別損失合計	404	27

財政状態

2016年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2016年度上期末	108,244	70,001	60.9%	2,211円17銭
2015年度末	115,136	72,497	59.0%	2,277円32銭

(参考) 自己資本 2016年上期末65,917百万円 2015年度末67,890百万円

為替レート 2016年上期末(2016年6月末) 102.9円/\$ 114.4円/€
2015年度末(2015年12月末) 120.5円/\$ 131.7円/€
海外子会社の会計期間は1月から12月ですので上期末は6月、年度末は12月となります。

貸借対照表

2016年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

分類	科目	2015年度末	2016年度 上期末	増減額
資産の部	流動資産	62,672	57,710	△4,962
	固定資産	52,464	50,534	△1,930
	資産合計	115,136	108,244	△6,892
負債の部	流動負債	31,894	29,892	△2,001
	固定負債	10,744	8,350	△2,394
純資産の部	株主資本	67,420	70,495	3,074
	その他包括利益累計額合計	469	△4,577	△5,047
	非支配株主持分	4,607	4,083	△523
	負債純資産合計	115,136	108,244	△6,892

純資産の部

2016年度上期補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

科 目	2015年度末	2016年度上期末	増減額
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	45,267	48,342	3,075
自己株式	△1,380	△1,380	△0
株主資本合計	67,420	70,495	3,074
その他有価証券評価差額金	252	195	△57
為替換算調整勘定	68	△4,957	△5,026
退職給付に係る調整累計額	148	184	35
その他包括利益累計額合計	469	△4,577	△5,047
非支配株主持分	4,607	4,083	△523
純資産合計	72,497	70,001	△2,496

キャッシュフロー

2016年度上期補足

設備投資・減価償却・研究開発

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

キャッシュフロー

(単位：百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2016年度上期	3,843	△3,249	△2,647	7,319
2015年度上期	3,777	△3,277	△89	9,172

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2016年度上期	3,552	2,418	1,056
2015年度上期	3,523	2,328	975

(設備投資額はキャッシュベースであります。)

目次

1. 2017年3月期第2四半期決算概要
(以下、2016年度上期)
2. 2017年3月期決算見通し
(以下、2016年度見通し)
3. 2017年3月期第2四半期決算補足
(以下、2016年度上期補足)
4. 需要拡大・用途拡大・新工場等の紹介

割付断裁 需要拡大

ミラフォーム
JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

大引間割付断熱工法

プレカット図面入手



割付図面作成 (CADデータ対応)



断裁加工



ご指定場所に納入

【背景】

● 施工手間削減による職人不足の解消

【4つのメリット】

● 端材が出ないので産廃費用削減

● 施工時間短縮・施工簡素化

● 機械加工で寸法高精度

● 切り粉無しで作業後の清掃手間軽減

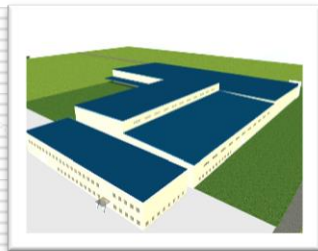


高断熱製品：ミラフォームラムダ

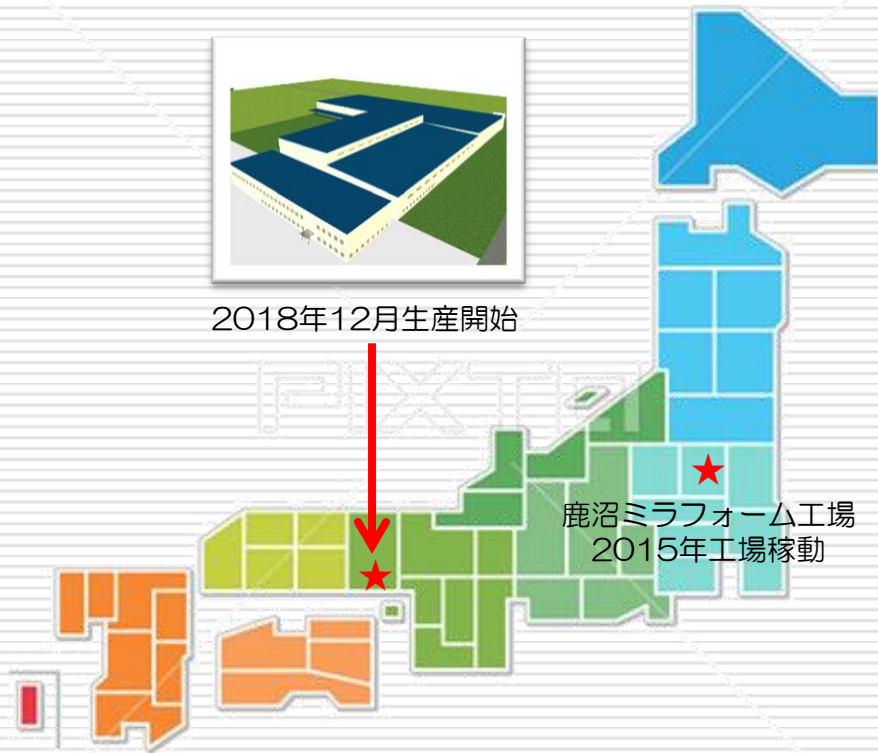
新工場建設

中部・西日本地区
ミラフォーム工場建設
JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

中部・西日本地区 発泡ポリスチレン押出ボード工場 「ミラフォーム」



2018年12月生産開始



【背景】

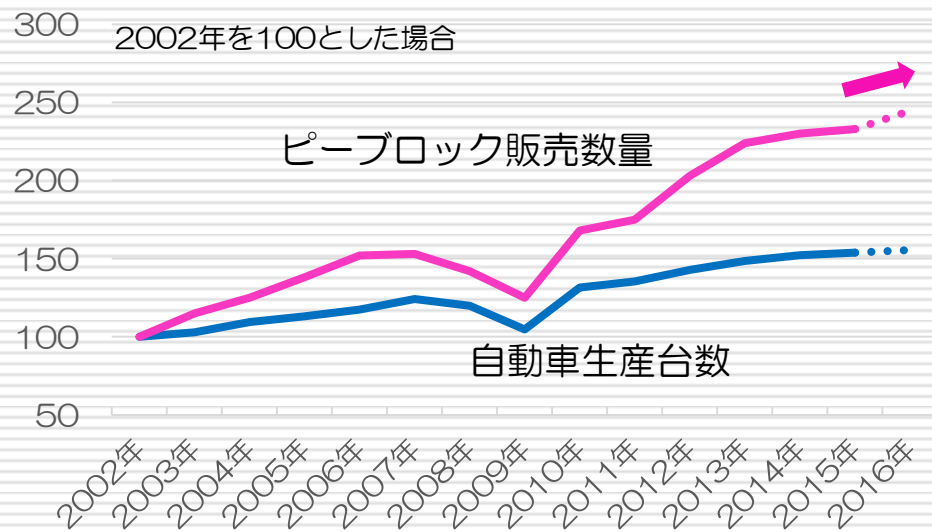
- 2020年省エネルギー基準への適合義務化
- 東西供給体制の構築
- 高断熱材ミラフォームへ生産体制の構築
- 製品性能の向上、効率的な生産体制を実現

【新工場の概要】

- (1) 所在地：兵庫県たつの市（現工場に隣接）
- (2) 事業内容：ミラフォーム生産、二次加工
- (3) 総投資額：約40億円
- (4) 敷地面積：36,500㎡
- (5) 建築面積：22,400㎡
- (6) 生産開始：2018年12月（予定）

自動車部品 用途拡大

ピーブロック
JSP Corporation
Engineered Plastic Foams



【ピーブロック需要動向】

- 全世界の自動車生産台数の伸び以上に、ピーブロックの販売が拡大
- 車両の軽量化に大きく貢献し、燃費改善に繋げる
- 2010年以降、欧米系自動車メーカーがリアシートコア材に採用、日系メーカーも順次採用が始まる



軽量性



緩衝特性



断熱性



耐油・耐薬品性



リサイクル性



吸音性

四日市第二工場 発泡ポリプロピレン「ピーブロック」の成形能力増強



【背景】

- 自動車部品への採用が拡大
- 新型プリウスにリアシートコア材として採用
- その他の車種にもリアシートコア材の採用拡大

【内容】

- (1) 投資金額: 18億円
- (2) 完工時期: 2018年12月 (予定)



イメージ図

新工場稼動

タイ工場

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

タイ 発泡ポリプロピレンビーズ工場 「ピーブロック」



【背景】

- 高倍率品の需要増
- 安定供給、営業力・技術サポートの強化

【新会社の概要】

- (1) 社名 : JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd.
- (2) 所在地 : タイ王国「アジア工業団地」
(バンコク市内東約30km)
- (3) 事業内容 : 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売、
技術サポート



新工場稼動

中国・長春工場

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

中国長春 発泡ポリプロピレンビーズ工場 「ピーブロック」



【背景】

- 東北・華北エリアにおける供給体制の構築
- 需要地に密接した生販体制による更なるシェア拡大

【新工場の概要】

- (1) 社名 : 杰斯比塑料(無錫)有限公司 長春分公司
- (2) 所在地 : 中華人民共和国「長春経済技術開発区」
- (3) 事業内容 : 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売



新工場建設

中国・武漢工場建設

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

中国武漢 発泡ポリプロピレンビーズ工場 「ピーブロック」



中国全体 生産能力24,000トンへ

【背景】

- 富裕層が沿岸部から内陸部にも増加
- 自動車生産台数の増加
- 環境汚染の深刻化から車体の軽量化が進む

【新会社の概要】

- (1) 社名 : 杰斯比塑料(武漢)有限公司
- (2) 所在地 : 中華人民共和国「武漢経済技術開発区」
- (3) 事業内容 : 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売
- (4) 総投資額 : 約12億円
- (5) 敷地面積 : 21,000㎡
- (6) 建築面積 : 7,920㎡
- (7) 生産開始 : 2017年1月(予定)
- (8) 年間生産能力 : 3,000トン

技術開発センター設立

中国・東莞工場

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

中国東莞工場内に技術開発センターを設立（2016年10月）



【設立目的】

- 現地成型加工メーカーの技術開発フォローを積極的に進める
- 民族系も含め、ピーブロックの更なる拡販を図る
- 東南アジアの顧客もカバー



能力増強

フランス・チェコ

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

チェコ 発泡ポリプロピレンビーズ工場 「ピーブロック」



欧州全体の生産能力を
26,500トンから37,000トンへ

40%能力増強

【背景】

- 自動車生産台数は堅調に推移
- 自動車部品用途が拡大、リアシートコア材など
- HVAC用途にも展開
- 製品の差異化戦略
- 営業力・技術サポートの差異化戦略

HVAC : Heating, Ventilation, and Air Conditioning
(暖房、換気、 および空調)

北米 電子線架橋発泡ポリエチレンシート「integxion」（インテグション） 2017/1Q 能力増強、高機能製品投入で収益事業に育成



医療用テープ



自動車ドアシールド

【特徴】

- 均一で微細な気泡構造、美しい外観
- 優れた弾力性、緩衝性
- 独立気泡のため耐水性、断熱性に優れている
- 軽量で浮力に優れる
- 耐油性、耐薬品性



ラミネート床下材



フレキソ印刷
マウンティングシート



ミラーガスケット

新規グレード

エレンポールNEO

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

ポリマーアロイ

ポリエチレン/ポリスチレン共重合ビーズ「エレンポールNEO」



【特徴】

●柔軟性・耐衝撃性

発泡ポリスチレンより粘り強く、高い曲げ弾性を持っており、衝撃吸収材や重量物等の緩衝材に適しています

●成形性

発泡性ポリスチレンの成形設備を使って、成形加工を行うことができます

●耐油性

【用途】

◎機械部品、電子部品などのクッション材、通い箱

◎TVなどのAV機器、家電製品のクッション材

◎自動車部品、嵩上げ材、衝撃吸収材

株式会社JSP

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問合せ Tel 03-6212-6306 IR室
